

町のコラム ～区立蘇峰公園～

大田区は昭和63年に稀代のジャーナリスト徳富蘇峰の旧宅を譲り受け、区立蘇峰公園として約1300坪の公園内に居間と書斎を移築し、山王草堂記念館として開館した。徳富蘇峰は勝海舟や新島襄を師と仰ぎ、明治23年に「国民新聞」を発刊し、ライフワークである信長から西南戦争までを綴った『近世日本国民史（100巻）』の過半をここで執筆した。

もみじ池畔に咲く5月中旬のカタルパと12月初旬の紅葉は見事である。（編集委員 横山 善朗）



カタルパの花



カタルパの小径から山王草堂記念館のある広い公園

SCHOOL TOPICS

スクール トピックス

大田区立入新井第一小学校

今年度、入新井第一小学校は創立150周年を迎えます。そこで児童集会を2026年2月13日に、式典を2月14日に行う予定です。式典に向けて、地域の方・保護者・教員で構成された周年準備委員会を立ち上げ、計画・準備等を進めております。現在はその取り組みのひとつとして、児童のアイデアを集めて記念キャラクターを選考しているところです。このキャラクターが入ったTシャツを来年度の学校行事等で着用していきます。他にもさまざまな取り組みを予定しておりますので、お力添えのほど、よろしくお願いいたします。

（150周年実行委員会）

大田区立山王小学校

今年度は、山王小学校開校100周年という節目の年です。その記念イベントといたしまして、「山王小フェスタ」を開催します。開催日2025年8月30日（土）11時～20時「山王小フェスタ」は開校100年をみんなでお祝いするイベントとなっており、巨大迷路や出店、キッチンカーや舞台発表、手持ち花火大会など皆様に楽しんでいただけるものを計画しております。卒業生や地域の皆さまもぜひご参加ください。お待ちしております。

（100周年実行委員長 伊集院 武範）

（編集委員 水元 尚）

令和7年度 新一年生

入学おめでとう

【入新井第一小学校】 76人
【山王小学校】 140人
【入新井第五小学校】 37人
【大森第五小学校】 36人
【大森第二中学校】 139人



入新井図書館からのお知らせ

このたび「わがまちいりあらい」の創刊号から99号までを1冊にまとめて製本しました。貸出はできませんが、入新井図書館の館内で読むことができます。創刊は平成3（1991）年4月12日、B4サイズの1枚（両面で2ページ）で、当時は「いりあらい」という紙名でした。

コロナ禍の令和2（2020）年9月（89号）の発行休止を経て、令和3（2021）年1月（90号）からフルカラーになり、令和6（2024）年5月、100号を機に現在の形になりました。バックナンバーをめくると、発行当時の地域の課題や、歴史に関する記事、人物紹介、公共施設の整備など、入新井地域のあゆみがわかります。ぜひ一度、ご覧ください。

大田区立入新井図書館 電話03-3763-3633 毎月第2木曜日は休館

第74回 大田区 子どもガーデンパーティー

74回「大田区子どもガーデンパーティー（平和島会場）」は令和7年4月27日（日）に晴天のもと朗らかに開催されました。今年は入新井地区青少対が幹事でした。地区内各校のPTAをはじめ町会の多くの方々にご協力をいただき無事故・大成功のガーデンパーティーを開催できました。平和島会場は5,266名の入場者がありご家族連れで楽しんでいただきました。皆さんありがとうございました。（編集長 臼田 幸生）



第23回 入新井盆踊り大会

日時 令和7年7月19日（土）18時～
20日（日）
場所 グリーンベルト

読者意見欄

入新井特別出張所に読者意見箱を設置しています。

頂いたご意見を参考に、今後の「わがまちいりあらい」に活用していきますので、ご協力よろしくお願いいたします。



編集後記

103号を上梓できました。今号は歴史分科会より「紙上まち歩き」と入新井第五小学校で開催いたしました「入新井歴史講座」を特集いたしました。「紙上まち歩き」では大森貝塚から品川歴史館までのコースを紹介しております。また「入新井歴史講座」は入新井第五小学校の3年生から6年生を対象に開催されました、入新井と平和島の由来などについてお話した内容を紹介しております。

1面では昨年12月に開館いたしました「スマイル大森」について、地域の皆様にもっと知っていただこうと開館以降の活動などを紹介しております。

今号も多くの皆様にご協力いただきました。ご協力いただきました皆様に篤く御礼申し上げます。ありがとうございました。

（編集長 臼田 幸生）



入新井特別出張所管内の人口

令和7年5月1日現在

世帯数 25,225（+557）

男 21,763（+324）

女 20,983（+301）

計 42,746（+625）

（ ）内は2025年1月1日比



（年3回1月、5月、9月発行）

発行：

地域力推進

入新井地区委員会

編集事務局：

入新井特別出張所

〒143-0016

大田区大森北1-10-14

TEL 3761-5303



「スマイル大森」ってどんなところ？

男女平等推進センター エセナおおた

TEL 03-3766-4586

5,6F



実施報告 2月16日（日）に「エセナフェスタ」を開催。センターを利用する団体等が出店するお祭りです。手芸・書道などの展示、ハンドマッサージなどの体験や、合唱や手品、朗読やダンスなどの発表があり、900人近くの来場者がありました。

今後の活動予定 気軽に参加できる「ひろば」があります。子育て中のパパを対象とした「おやこのためのプレイスペース パパのじかん」、女性を対象とした「ゆるり～な」はどちらも事前申込不要です。詳細はホームページをご参照ください。

地域包括支援センター入新井・

シニアステーション入新井

TEL 03-3762-4689

2F



地域包括支援センター入新井では高齢者の総合相談窓口として、介護保険制度に関するご相談や見守りキーホルダーの申請など、月に500件以上の相談に応じています。

シニアステーション入新井では元気維持や介護予防を目的として、様々な運動系講座（体操やボッチャなど）や文化系講座（スマイル大森銀映座など）を開催し、月間の延べ利用者数は700人を超えました。

これからも「高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち」の実現に向けて取り組んでまいります。

つばさ大森教室

大田区立教育センター（教育相談担当）

TEL 03-5748-0801

3F



様々な理由から学校に登校できない児童・生徒のために大田区教育委員会が、学校への復帰を支援し、各自の学びの場と居場所を支援するために区内5か所に開室しています。学習指導講師による学習支援、こども同士の交流や対人スキルアップを目指したレクリエーションのほか、美術館巡りや自然や動物と触れ合えるような社会科見学や、プログラミングや化学実験、創作活動などの体験教室を通して社会的活動の支援も行っています。

区民活動施設

TEL 03-6423-0028

1F

B1F

B2F



区民活動施設では、子ども向けのワークショップ（廃チラシ工作、ロボットハンド、ランタン作り）や、大人向けの金継ぎ体験をはじめ、館内スタンプラリーや大森の偉人である加納公の展示など、皆さまが楽しめる講座やイベント、展示を実施してきました。4月には、オープンスペースに「まんがLIVING」が開設されました。まんがを通じて人と共感し合える場所ですので、なたでも気軽にお立ち寄りください。



歴史散歩

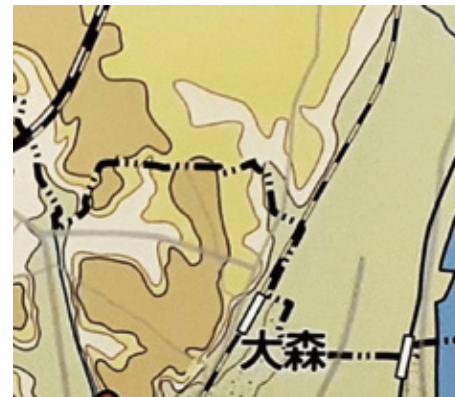
～まち歩き～

令和6年秋

2024年11月24日入新井地区歴史分科会主催にてご案内したコースを紹介しします。

NTTデータ大森山王ビル前→大森貝塚碑→中世道路跡→古代からの水路跡(大田区・品川区の区境)→大森貝塚遺跡庭園→鹿嶋神社→品川歴史館(古墳跡)・流れ解散。28名の方が参加されました。武蔵野台地東南端の海に面した舌状の陸地に、縄文時代や弥生時代から大きな集落がありました。鉄道の開通が有ったのとながら、モース博士による大森貝塚発見に始まった考古学のお陰で、古代からの人の営みを思い起こしてみました。

古代の人々にとっても水は欠かせませんが、原の水神(大井3丁目)で今も自噴し、大井水神公園に至る古代からの川の流れが、今は暗渠の道で右図の二点鎖線は大田区と品川区の境界線となっています。品川用水の南端の流れであり、水神公園を通り、大森海岸通りから東京湾に注いでいます。この道はモース博士が発見した貝塚の中心部「大森貝塚遺跡庭園」に沿っています。



(大田区立郷土博物館所蔵)



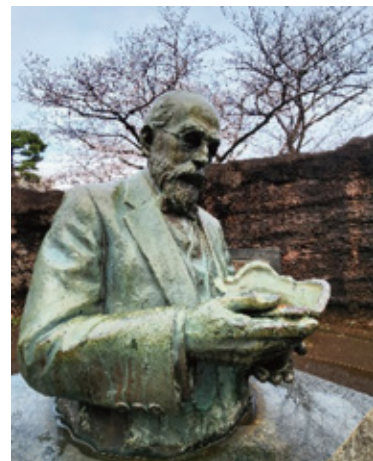
3千年前の古代人の生活想像図



山王台地弥生時代の住居環壕跡
(大田区立郷土博物館所蔵)



奈良時代の古墳跡



エドワード・S・モース博士



大森貝塚碑



大森貝塚碑



鹿嶋神社にある用水の歴史賛碑と力石



荏原郡の鎮守である鹿嶋神社は平安時代に勧請された常陸国一宮です。標柱(しめばしら)の文字は稀代のジャーナリストと言われた徳富蘇峰が改まった正敬を名乗って揮毫しました。境内には品川用水記念碑として高さ5.3m、幅2.4mの「恵澤潤治(けいたくじゅんごう)の碑(用水の歴史賛碑)」があります。また、お祭りの時に力比べをした三つの大きな石があります。

(担当委員:高木 利忠・田部 隆幸・横山 善朗)

入新井第五小学校で歴史講座

入新井の町についての歴史お話し会



2024年の3月に「歴史の分科会」では大森第二中学校で表題のお話し会を開催させていただきました。そして、今年2025年2月28日(金)に分科会として2回目となる「お話し会」を入新井第五小学校の3年生から6年生を対象に開催させていただきました。今回は古い地図とか写真も追加するなど内容をリニューアルし生徒の皆さんにより入新井地区に関心を持っていただこうと工夫して臨みました。

初めに高木会長のあいさつに続き、一人目のお話しは臼田委員による「入新井地区の由来」です。明治の文明開化から始まる新井宿村と不入斗村の合併から大正・昭和を経て戦後の大田区になるまでの入新井地区の歴史を古地図も交えてお話させていただきました。

二人目のお話しは菊池委員による「大森海岸駅と平和島駅の由来」です。昭和初期、大森海岸は多くの人で賑わった海水浴場があり、さらに多くの料亭が並ぶ歓楽街でもありました。そんな古き良き時代を懐かしい写真で説明していただきました。また平和島が戦時中は捕虜収容所として使用されていたこと、戦後は日本の戦犯が収容されていたことなどの史実から、二度とこのようなことがないようにと「平和島」の名がつけられた歴史を振り返りました。

最後のお話しは鶴田委員による「大森駅と大森海岸駅を走るチンチン電車」です。明治の中頃、川崎側の六郷橋のたもとから「大森停車場駅」(現在の大森駅)の間にチンチン電車が走っていました。それが時を得て「大森停車場駅」と「八幡駅」(現在の大森海岸駅)を結ぶ支線として営業されていきました。当時はとてもどかな鉄道だったことも紹介されました。現在はもちろん当時の建物や線路は残っていませんが、その跡が大森駅東口の区画やイトーヨーカ堂横の案内敷石板として残されています。

「お話し会」は30分程度でしたが生徒の皆さんは真剣に聞いてくれました。終了後の感想発表では入新井の町についての驚きと発見を多く聞くことができました。中には「入新井第三小学校」が「山王小学校」になんて変更したのか、との質問もありました。これには田部委員が「山王日枝神社」とのかかわりから説明して下さいました。楽しいひとときを過ごさせて戴き感謝でいっぱいです。入新井第五小学校の皆さんありがとうございました。

(編集長 臼田幸生)

